稟　議　書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 起案日 | 202X年9月1日 | 決済希望日 | 202X年9月15日 |
| 部署 | 事業企画部 | 氏名 | 山田智子 |

1. 新製品開発の目的と期待される効果を具体的に記載

|  |  |
| --- | --- |
| 件名 | 新市場開拓のための新製品開発プロジェクトの立ち上げ |
| 内容 | 当社の主力事業である家電製品分野において、新たな市場を開拓するため、IoTを活用した革新的な新製品の開発を提案いたします。  開発する新製品は、スマートフォンと連携し、家電の遠隔操作や省エネ制御を可能にする「スマートホームハブ」です。   1. 開発する新製品の概要と特徴を明確に説明   開発期間は2年を予定し、初年度は市場調査とコンセプト設計、2年目は試作品開発とテストマーケティングを実施します。  開発体制は、社内の開発部門を中心に、外部の専門家や協力企業を交えたプロジェクトチームを編成します。  必要な開発費用は、初年度5,000万円、2年目8,000万円の合計1億3,000万円を見込んでいます。 |
| 目的 | IoTの普及に伴い、家電製品のスマート化が急速に進む中、当社としても新たな価値を提供する製品の開発が不可欠です。  「スマートホームハブ」の開発により、当社の技術力とブランド力を活かした新市場の開拓を目指し、将来の売上拡大と利益向上に貢献します。 |
| 備考 | 開発費用は、既存事業の利益を活用し、2年間で投資回収が可能な規模として算出しています。 |